

事業運営報告（概要）

（組織の運営）

（1）定例会の開催（理事長、常務理事、松本理事、事務局員）

月に1,2回程度開催し楽員、事務局員採用、支援獲得のための働きかけ、主催事業の進歩、資金運用の検討、PR活動などの方針決定を行いました。

（2）事務局の運営

2011年度より事務局長のもと、企画制作部、事業開発部、総務経理部の3部制での運営を行いました。（2010年度までは事業課、総務課の2課制）

（3）楽員の確保

①入団 ヴィオラ、アシスタント・コンサートミストレス（ヴァイオリン）、バストロンボーン、テューバ、ホルン、チェロ各1名。計6名

②退団 トランペット2名、オーボエ1名 計3名

（事業報告）

（1）演奏会

芸術性の高い演奏を提供する定期演奏会（ザ・シンフォニーホール/10公演）をはじめ、びわ湖定期公演（びわ湖ホール/2公演）、京都特別演奏会（京都コンサートホール）、三重特別演奏会（三重県文化会館）、福井特別演奏会（ハーモニーホールふくい）、神戸特別演奏会（神戸・松方ホール）を開催するとともに、ホールや学校と連携する演奏会は「ラ・フォル・ジェネ」（びわ湖ホール）、「のだめカンタービレの音楽会」（兵庫県立芸術文化センター他）や「紀陽コンサート」（和歌山市民会館）など46公演を行いました。

（2）高齢者・病院・特別支援学校向け演奏会

オーケストラの社会貢献活動として、高齢者やふだん演奏会に馴染みのない方に音楽の力による本物の感動体験を提供する事業として、リーズナブルな料金の「センチュリー四季コンサート」（NHK大阪ホール）をはじめ、「特別支援学校コンサート」（ビッグ・アイ、各学校）、「病院コンサート」（5病院）、「星空ファミリーコンサート」（服部野外音楽堂/2日間）を開催いたしました。

(3) 教育プログラム

児童、生徒、青少年に生の音楽演奏の鑑賞や、体験や参加の機会を提供することを通じて音楽の力による健全な育成をはかる事業として、文化庁「子どものための優れた舞台芸術体験事業」公演（中国地方）をはじめ、小学生体感教育プログラム「タッチ・ジ・オーケストラ」（センチュリー・オーケストラハウス／16公演）、3月31日「オーケストラの日」演奏会（いずみホール）、「センチュリー・ユース・オーケストラ」の指導・育成、中学生のための「職業体験学習」、高校生を定期演奏会に招待する「ドネーション・シート」（支援者の提供席）事業、大学生のための「インターン・シップ」、成人向けの「おとなのためのヴァイオリン教室」を行いました。

(4) 国際交流演奏会

“音楽大使”として国際相互理解や平和の構築に貢献する事業については、平成24年度「日中国交正常化40周年記念演奏会」の計画策定を行いました。
（平成24年5月12日、13日、14日開催）

(5) CDの制作

楽団のPR、演奏技術の向上を目的とし（公財）ロームミュージックファンデーションより助成を受けCD制作を行いました。

リスト作曲 ファウスト交響曲 指揮：小泉和裕 録音4月18日～21日 2,000枚制作

(6) オーケストラハウスの管理

大阪府から貸与を受けているセンチュリー・オーケストラハウスの一部を音楽サロンとして、音楽に関連する情報誌や交響楽団の歴史等の書籍を設置し、市民が利用できる公共スペースの場として提供しています。

(7) 楽団PR活動

①記者会見

2011年10月18日、新阪急ホテルにて、水野理事長、小泉音楽監督、野崎常務理事出席のもと、2012年度自主公演プログラムを発表しました。

②「センチュリー・駅コン」

JR西日本とタイアップしたJR大阪駅前広場のアンサンブル演奏会を実施しました。

（月1回開催）

③「議場コンサート」

2012年2月23日 大阪府議会会場においてアンサンブル演奏（チェロ四重奏）を行いました。

(8) 各種会員向け活動

- ①賛助会員 2011年10月27日、丸福喫茶店(千日前)で個人賛助会員、ドネーションシート提供者と楽員の交流会を開催しました。

- ②定期会員 2011年11月15日、センチュリー・オーケストラハウスにて小泉音楽監督出席のもとリハーサル見学、懇親会を開催しました。

- ③ファンクラブ 2011年7月23日、10月11日、センチュリー・オーケストラハウスにてリハーサル見学を開催しました。